

「JABEE の近況」

一般社団法人 日本技術者教育評価機構
専務理事 三田清文

1. JABEE とは

一般社団法人 日本技術者教育認定機構（JABEE）は専門分野の学会・協会と連携して、技術者を育成する教育を「技術者に必要な知識と能力」「社会の要求水準」などの観点から審査し、認定する非政府系組織である。1999年に設立し、2001年から認定を開始した。認定の対象は大学、大学院、大学校、及び高等専門学校の本科（4,5年生）から専攻科（1,2年生）までの工学系、農学系、理学系の教育課程である。

2. JABEE と国際協定

JABEE は技術者教育認定団体の多国間協定であるエンジニアリング系学士課程を対象としたワシントン協定、に加盟している。JABEE 認定プログラムの修了生は、当該協定の加盟国間で相互にその同等性（同等の知識・能力を身につけていること）が認められている。ワシントン協定に正式加盟している国、地域は21（2020年6月現在）あり、他にアジア、中南米の7ヶ国が暫定加盟している。

JABEE 認定プログラムの修了生は、国内では国家資格である技術士の第一次試験が免除されている。また、技術者として海外で仕事をする場合には、国際協定加盟団体が認定したプログラムの修了者であることが必須となる場合もある。

3. JABEE の認定・審査

認定・審査は JABEE の制定した認定基準に基づいて実施し、基準 1 では国際エンジニアリング連合 (IEA) が規定した 12 項目の Graduate Attributes and Professional Competencies を反映した 9 項目の知識・能力観点を含めた「学習・教育到達目標の設定と公開」、基準 2 では「教育手段」、基準 3 では「学習・教育到達目標の達成」、そして基準 4 「教育改善」では教育を改善するための仕組みと活動を確保するものである。

ワシントン協定加盟各国の主要な大学には多くの認定プログラムがある。一方、国内では認定プログラムの累計数は 510、修了生の累計数は 32 万人となったが、教育機関全体では約 1,800 の対象課程があり、他国と比較すると認定プログラムの割合は少ない状況である。さらに、日本では第三者評価への意識がなかなか高まらないことに加え、少子化等による教育機関の運営資金の減少や法的義務のある機関別認証などへの対応の負担もあり、最近では認定の継続を断念するプログラムも増えてきている。

地球・資源分野での認定は 9 プログラムあり、2020 年度から認定継続のための審査が 5 年続く予定である。2020 年度以降の審査は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、審査スケジュールが後倒しにすることにした。また実地審査についてはウェブ会議等で代替するなど感染防止対策を最大限に盛り込み、新たな方法で審査を進めている。詳細については JABEE のウェブページを参照いただきたい。

https://jabee.org/accreditation/basis/examination_doc

以上